

			科目コード	146
科目名	生涯発達心理学 (Life-Span Developmental Psychology)		開講学科	看護学科・臨床検査学科
選択区分	(看護) 必修 (臨床) 選択	単位数 (時間)	1 単位 (15時間)	履修時期
担当教員	仲渡 江美		科目区分	専門基礎科目
授業概要	授業では、乳児期から老人期にかけての人の発達に関する話題提供を行う。各発達段階における基本を理解し、自身の発達過程を振り返り、発達に関する知識を深めることを目指す。			
授業目標	<p>この授業では、人間の知覚、認知、社会性の発達に関する学習を通じて、次の2点ができるようになることを目標とする。</p> <p>1 ひとりの人間の中で、それぞれの発達の側面がどのように影響しあい、統合されているかを理解し、発達するとはどういうことかについて、自分なりの考えをまとめられるようになる。</p> <p>2 「子どもの発達」を支える基盤について、自分なりの考えを述べるができる。</p>			

授業内容

回	項目	内 容
1	発達について	発達とは、遺伝と環境による影響
2	認知・社会性の発達 (1)	乳児期：赤ちゃんの視知覚能力の発達
3	認知・社会性の発達 (2)	乳児期：愛着 (attachment)：親子の絆の形成
4	認知・社会性の発達 (3)	幼児期：ことばの獲得、ピアジェの認知的発達理論
5	認知・社会性の発達 (4)	児童期：学びと友人関係、心の理論
6	認知・社会性の発達 (5)	青年期：アイデンティティの確立
7	認知・社会性の発達 (6)	成人期：就職、配偶者選択、親になること
8	認知・社会性の発達 (7)	老人期：人生のまとめ
成績評価方法	毎授業のワークシート・リアクションペーパー (50%)、小レポートおよび提出物 (30%)、最終レポート (20%)。授業計画を含め、詳細は授業第1回目に説明する。	
教科書	特に指定しない。	
参考図書等	岡本祐子・深瀬裕子 (編)「エピソードでつかむ生涯発達心理学」(ミネルヴァ書房) 山口真美「赤ちゃんは顔をよむ一視覚と心の発達学」(紀伊國屋書店) 必要な文献等は、授業で配布する。	
備考		